



# みらい通信

## 第55号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所  
 連絡先 〒028-3318  
 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2  
 電話 019-671-2244  
 FAX 019-671-2243  
 Email miraiken@shiwa-mirai.com  
 発行日 平成25年 2月 8日(金)

### ■ 夢あかり in 紫波中央駅

紫波冬まつり2013  
 夢あかりコンテスト  
 「キラキラ賞」受賞!!

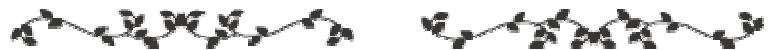


1月19日(土)に行われた「紫波町冬まつり」に共催し、今年も紫波中央駅ロータリーに夢あかりを飾りました。積雪も充分あり、会員と有志の方で1週間前からかまくらや雛壇の準備を始め、今年は竹で夢あかりを作成、今までのものと合わせて約500個の夢あかりを灯しました。紫波中央駅の乗降客から「わぁ!きれいだ!!」の声が。(女子高生からは「まじきれいなんだけど。みらい研究所ってなに?」という声も・・・)

そしてなんと、紫波冬まつり夢あかりコンテストで紫波みらい研究所は「キラキラ賞」を受賞(27団体参加中6団体入賞)いたしました!!

寒い中準備、そして片付けをしていただいたみなさん、大変お疲れ様でした。

## ことのは



立春を過ぎ、暦の上では春となったわけですが「こかげのうえん」はどうしているのかというと、はい、雪と寒さに負けました。ということで、2月から野菜セットを一旦お休みしています。岩手の冬を乗り切るには準備不足だったようです。

とはいえ、自家用野菜は畑に採りにいっています。積もった雪をかき分けて、葉物野菜を、まるで、宝探しの様に探すのですが、そこで目にするのは、深い雪の下でもたくましく大地に根付いている、ハコベなどの草。「雑草魂」や「草の根根性」というものが生半可なものではないということを目の当たりにしています。

そして、草ばかりではなく小型のクモなども、時折、姿を見せたりもして、ゆきのしたにある意外なにぎわいと共に、やがて来る「春」を待っています。

「春」、英語では「spring (スプリング)」といって、「バネ」と訳すこともできるコトバで表すのです。

「押しつぶされそうな、そんなときだって、ぐっと踏ん張って、その時を待っている」ととてもとても、丈夫なバネ。草に、虫に、見習って、日々精進していきたいです。

こかげのうえん 関 大輔

## ■ 2月～3月の事業 \*会員のみなさんの参加をお願いします\*

- 2月17日(日)10時～14時頃「森のあそび場“りんくる冬”」  
 集合場所：紫波フルーツパーク内 農楽(のら)交流館  
 参加費：1人500円 要予約
- 20日(水)14時～15時頃「ワン・コイン・セミナー」 講師：細川玲子(食の匠)  
 場所：オガールプラザ キッチンスタジオ  
 参加費：500円(菓子・お茶代) 要予約
- 13日(水)13時30分～ 「紫波町農業活性化交流会」  
 基調講演「6次産業化地域農業再生ファンドと地産地消のありかた」  
 場所：オガールプラザ 参加自由
- 16日(土)13時30分～ 第8回改善発表会「経営理念に基づく町職員による住民本位の業務改善」  
 特別講演：これからのまちのあり方 まち育ての進め方」  
 場所：オガールプラザ 参加自由
- 3月10日(日)15時頃～ 「3.11 東日本大震災追悼夢あかり in 紫波中央駅」(仮称)  
 内容未定、実行委員会を組織しますので、ご協力をお願いします
- 14日(木)9時～13時 「町を知る、学ぶ、楽しむ循環型まちづくり施設見学会」  
 見学場所：虹の保育園、えこ3セクター、ラ・ワソ温泉館((再生可能エネルギー施設)  
 参加費：700円(昼食代)見学会は無料です 要予約

みなさんの参加、お待ちしております。

## ■ 國學院大學トークイベント

報告が遅れましたが、昨年11月3日に國學院大學渋谷キャンパスで「環境循環型社会を考えるー紫波町での学生の間伐体験を通じてー」と題してトークイベントが行われました。藤原町長、紫波みらい研究所から山口雄さんと佐藤由美子事務局長がパネラーとして参加しました。その様子が國學院大學報に掲載されました。

第609号

國 學



国学院大学では、平成30年11月3日(日)に国学院大学渋谷キャンパスで「環境循環型社会を考えるー紫波町での学生の間伐体験を通じてー」と題してトークイベントが行われました。藤原町長、紫波みらい研究所から山口雄さんと佐藤由美子事務局長がパネラーとして参加しました。その様子が国学院大学報に掲載されました。

### 岩手県紫波町が トークイベントと物産展を開催

国学院大学では、平成30年11月3日(日)に国学院大学渋谷キャンパスで「環境循環型社会を考えるー紫波町での学生の間伐体験を通じてー」と題してトークイベントが行われました。藤原町長、紫波みらい研究所から山口雄さんと佐藤由美子事務局長がパネラーとして参加しました。その様子が国学院大学報に掲載されました。

## 3.11東日本大震災追悼夢灯り in 紫波中央駅(仮称)

日 時：3月10日(日)  
 15時～準備  
 17時30分～点灯  
 場 所：紫波中央駅ロータリー等

紫波冬まつりで使用した夢あかり(みらい研、日詰駅前、フルーツパーク等)を紫波中央駅で灯し、犠牲になられた方を追悼いたします。

駐車場はオガール南側のパークアンドライド駐車場をご利用ください。

ご協力ください!!  
 夢あかりに使用するろうそくを集めています。当日までにお持ちください。

### 〔 編集後記 〕

早く春になあれ・・・

